

茨城キリスト教大学 面接授業の対応マニュアル第2版（学生用）

新型コロナウイルス対策会議

キャンパスの教室での授業が9月から再開の予定です。本学では、教職員一同、感染防止と安全確保に最善を尽くして参りますが、学生の皆さんもぜひご協力ください。

本資料は、新型コロナウイルス対策として「面接授業」に関する具体的な手続きや留意事項を記載しています。よく読んで、自分自身はもちろん、ご家族を含め大切な人、周りの人の安全や生命を守るため、感染予防の対策を確実に実施してください。

1. 感染防止意識の徹底

下記の事項についての行動を遵守し、新型コロナウイルスへの感染防止を徹底する。

(1) 体調管理

① 毎日の体温測定、体調把握

- ・生活科学部の学生は、「健康日記」アプリを利用し、学科ごとに決められたアドレスに1週間ごとに定期的な送信を忘れなく行う。同時に、日々の行動の記録も残しておく。
- ・看護学部の学生は、学部指定の「健康観察表」へ、体調を記録する。1年次生と4年次生は保健室から配信されている「健康日記アプリ」への記録でも可。
- ・文学部、経営学部の学生は、UNIPAに掲示してある「健康・行動の記録」のファイルをプリントアウトして利用する。「健康・行動の記録」は、求めに応じて提示できるように、大学滞在時には常に携帯すること。

② 体調不良の場合

自分自身、あるいは同居の家族に発熱、強いだるさ、息苦しさ、咳、味覚・嗅覚異常、頭痛、下痢などいつもとは異なる体調不良がある場合は、速やかに学務部に報告し、通学を控えるとともに、症状に応じて自宅療養もしくは医療機関受診など適切に行動する。基礎疾患がある学生は、発熱や軽い風邪症状でも同様に連絡をすること。いずれの場合も、出席停止となり公欠扱いとなる。

<電話番号（代）：0294-52-3215 「学務部」と依頼してください。>

③ 生活リズムを整える

- ・適切な起床時間・就寝時間、規則正しい食事摂取、適度な運動を心がける。

④ 栄養バランスの取れた食事の実践

- ・免疫力を低下させないために、日々の食事は主食・主菜・副菜がそろった栄養バランスのとれた食事を心がける。

⑤ ストレス管理

- ・ストレスがたまると免疫力が低下するので、自分なりのストレス解消法をみつけて実践する。
- ・不安や心配ごとがある場合は、自分で抱え込まないで、遠慮なく早めにアドバイザー教員、ゼミ担

当教員等に相談する。

(2) こまめな手洗いと消毒

- ・ 校舎に入る際と、教室や実験・実習室に入退出の際は、石鹼を使って丁寧に手を洗う。必要に応じて設置してあるアルコール消毒液で手指の消毒を行うこと。常にこまめな手洗いを心がける。
 - ・ 消毒・除菌効果のあるスプレーやシートを持参し、食事前後など適宜利用することを推奨します。
- * 学内だけでなく、外でも、家庭でも徹底する。

(3) マスクの着用

- ・ マスク着用を徹底する（入手困難の場合は、手作りマスクでも良い）。
- ・ マスクは、鼻やあごが出ないように、正しく装着する。
- ・ マスクをしている時、その表面を手で触らない。また、マスクをはずした時にその手で、口、顔、目、髪を触らない（マスク着用時も同様）。

(4) 接触による感染回避

- ・ 大学に持参する個人用の筆記用具、携帯電話のケースや画面については、1日1回の消毒を心がける。また、他人のものを触ったり、共有したりすることは避ける。
- ・ 接触感染を避けるため衣服（ボタンも）、通路や教室内の壁、階段の手すり等はなるべく触らない。
- ・ ウイルス付着の恐れがある髪の毛と接触しやすいイヤリングやネックレス等の装飾品、髪を結ぶゴムの扱いには注意する。それ以外の物は洗浄や消毒等により清潔を保つ。
- ・ 日常身につける衣類は、洗濯により清潔を保ち、可能であれば紫外線の多いときに靴も含めて日干しをする。

(5) トイレでの対応

- ・ トイレでは、十分な間隔(1~2m)をとり、列を作って順番を待つ。
- ・ トイレの使用後は、必ず便座のふたを閉めて水を流す。
- ・ 手洗いは備え付けの液体石鹼を使用し、念入りに洗う。
- ・ 手洗い後に、顔面・頭部・衣服を触らない。
- ・ 手拭きは、個人の清潔なタオル、ハンカチまたはペーパータオルを利用する。ウイルス拡散の危険性のあるハンドドライヤーは使用しないこと。
- ・ トイレの窓は常時開放し、トイレの利用者が他にいない時は出入り口のドアを開放して退出する。

2. 面接授業の受講上の留意点

- * 授業における対応の詳細は、担当教員の指示に従うこと。
- * 受講および通学に不安がある学生は、遠慮なく担当教員、またはアドバイザー教員に相談すること。相談は、学務部でも常時受け付けている。

(1) 教室、実験・実習室での座席

- ・飛沫感染予防のため、教卓と学生席の最前列は2 m以上、学生相互は1 m以上の間隔（又は1席空け）で着席することを基本とする。担当者の指示に従って着席する。
- ・大学から支給されるフェイスシールドを携帯し、必要に応じて着装する。
- ・基礎疾患等があることにより重症化するリスクが高い場合は、担当教員に申し出る。

(2) 授業中の心得

- ・マスクを着用していても、不必要な大声やおしゃべりは控える。
- ・体調不良が発生した場合は、我慢せず速やかに担当教員に申し出る。
- ・授業で教員が配布するプリント類は、一定場所に置き、学生が個々に取りようにする。
- ・学生の提出物は、担当教員に直接渡さず、専用の箱やかご等に提出する。

(3) 授業終了後

- ・すべての授業が終了したら、速やかに帰宅する。

(4) 実習・実技、演習時の更衣

- ・実習、演習、体育実技等において更衣の必要性がある場合は、3密を避け更衣室の最大収容人数の1/2になるように、時間・順番を調整する。
- ・更衣中は、マスクを着用し、会話を慎む。
- ・更衣後は石鹸を使って手を洗う。

(5) パソコン教室の利用

- ・入室前に石鹸で手洗いをする。
- ・イヤホンまたはヘッドセットを授業で使う場合は、各自持参する。

3. 学内環境への配慮

学内環境において、感染拡大のリスク（①換気の悪い密閉空間、②人が密集している、③近距離での会話や発声）の低減に努める。

- ・**教室移動**： 社会的距離(2 m)を取り、おしゃべりを慎むこと。
- ・**エレベータ**： 密室なので、障がいのある学生、体調不良やケガをしている学生以外は階段を利用する。利用する場合は、外側・内側の操作盤は指の第2関節で触れ、エレベータ内での会話は慎む。
- ・**飲食**： 食事の前に石鹸で丁寧に手を洗うこと。
食事中のおしゃべりは慎むこと。
昼食を持参した場合は、空き教室を使い、1 m以上の間隔をあげ、同一方向を向いて座ること。また、換気を心がけること。
ラウンジ、学生食堂での飲食は、向き合って座ることを避け、1 m以上の間隔をあげて横並びに着席すること。

昼休みの時間（11：50～12：40）は混雑するので、時間割上可能な学生は時間をずらすなどの工夫をすること。

飲食後は速やかにマスクを着用すること。

＊ 本学では委託清掃員に依頼し、以下の個所について、毎日、清掃・予防消毒を実施しています。

- ・ エレベータ：外側・内側の操作盤の消毒
- ・ 使用する教室：ドアノブ、机、椅子背もたれ、マイクの消毒
- ・ トイレ：清掃に加え、ドアノブ・便座を消毒
- ・ ロッカールーム：清掃に加え、ドアノブ、ロッカー表面を消毒

4. 学内で具合が悪くなった場合

- ・ 授業中に具合が悪くなった場合は、我慢せず、担当教員に申し出る。
- ・ 授業以外の時間に具合が悪くなった場合は、シオン館の保健室専用玄関（図書館側）を利用して、保健室で処置を受ける。

5. 学外での過ごし方

(1) アルバイト

- ・ 特に3つの密（換気の悪い密閉空間、大勢の集まる密集場所、近距離での会話や発声を伴う密接場所）がそろう場合は、一時辞める、別のアルバイトを探すなど、自分の身を守り、感染防止に努める。

(2) 移動について

- ・ 県をまたいでの移動、特に首都圏への移動についてはできる限り自粛すること。可能な限り人込みを避け、イベントなどには参加しない。就職活動などで移動を伴う場合は、企業側やキャリア支援センターに相談すること。

(3) 会食について

- ・ 友人等との会食、飲み会、サークルなど多人数での集団行動では、感染リスクについて細心の注意を払う。

＊新型コロナウイルスの影響でなにか問題が起きて困っている場合は、学務部に相談してください。

<電話番号（代）：0294-52-3215 「学務部」と依頼してください。>

6. オンライン授業への備え

今後、新型コロナウイルスの感染状況によっては、再び、オンライン授業になる可能性があります。学生の皆さんは、PCの準備や通信環境の整備を引き続き進めてください。

ご自身が新型コロナウイルス感染者、あるいは濃厚接触者と分かった場合は、速やかに以下のメールアドレスにご連絡ください。メールには、次のことを書いてください。

- ・学籍番号
- ・氏名
- ・いつ、どこの医療機関で診断を受けたか
- ・発症日（いつから症状があったか）
- ・最後に大学に来た日
- ・連絡の取れる電話番号

kinkyu@icc.ac.jp



*このマニュアルは、今後、感染状況の変化などに応じて更新されることがあります。引き続きIC-UNIPA 掲示を頻繁にチェックしてください。

以上